



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東
コード番号 5210 URL <https://www.yamamura.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 金原 正晃 TEL 06-4300-6000
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	36,840	7.5	3,205	855.2	5,436	—	9,756	—
2023年3月期第2四半期	34,265	10.7	335	△70.9	△880	—	△22	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 12,024百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 1,065百万円 (94.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	955.45	—
2023年3月期第2四半期	△2.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	95,801	49,503	51.5
2023年3月期	87,599	37,488	42.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 49,351百万円 2023年3月期 37,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	7.1	3,200	—	5,000	—	9,000	—	881.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
除外 1社 （社名）山村香港有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	11,145,249株	2023年3月期	11,145,249株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	933,696株	2023年3月期	933,392株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	10,211,710株	2023年3月期2Q	10,212,593株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、個人消費の持ち直しや企業収益の改善が見られ、緩やかに回復しました。今後も継続することが期待される一方で、世界的な金融引締め等が続く中、景気の下振れ懸念があり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは当連結会計年度より3ヵ年の新中期経営計画をスタートさせました。新中期経営計画の策定に当たり、従来からある「基本理念」「コーポレート・メッセージ」に「存在意義：人と技術の力で、豊かな社会と快適な生活をつくりだす」を新しく加えて「山村グループの基本哲学（フィロソフィ）」を定め、「グループ経営ビジョン」を「100年先も必要とされる会社」に刷新いたしました。また、持続可能なビジネスモデルの構築に向け、S B T (Science Based Targets) イニシアティブより1.5℃水準短期目標の認定を2023年9月に取得いたしました。これからも様々な課題に長期的に挑戦していく事業基盤が肝要であるとの思いをこめて新中期経営計画は「成長に向けた事業基盤の整備」をテーマとし、「財務基盤の整備」「既存事業を強化する仕組みづくり」「新しい事業を構築する準備」「循環型社会の実現に向けた開発」「従業員が誇りを持って働きたいと思える会社づくり」という5つの経営方針を推進し、グループ一体となって業績向上に取り組んでおります。

事業セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、国内ガラスびん業界の出荷量は、前年同期比96.7%となりましたが、当社においては足元ではガラスびんの出荷がやや鈍化しているものの、同業他社の生産設備の縮小の影響もあり出荷が増加しました。さらに価格改定や品種構成の影響で販売単価が上昇したことにより、セグメント売上高は24,082百万円（前年同期比10.6%増）と増収となりました。セグメント利益は、当社において原燃料・動力価格の高騰がありましたが、販売単価が上昇したことや前第2四半期連結累計期間に損失の発生していた中国の子会社の全持分を譲渡したこと等による良化により、2,634百万円の利益（前年同期は193百万円の利益）と増益となりました。

② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、インドネシアの子会社が清算手続き中であることや、国内における飲料用キャップの出荷の減少等がありましたが、中国の子会社の販売が好調なことや、当社の昨年からの価格改定等による飲料用キャップの販売単価の上昇等により、セグメント売上高は3,969百万円（前年同期比8.4%増）と増収となりました。セグメント利益は、原料費等の増加がありましたが、減価償却費の減少や販売単価の上昇、および前第2四半期連結累計期間に損失の発生していたインドネシアの子会社が清算手続き中であること等による良化により、311百万円（前年同期は△36百万円の損失）と増益となりました。

③ 物流関連事業

物流関連事業では、新規業務による取扱い物量の増加により、セグメント売上高は7,317百万円（前年同期比2.2%増）と増収となりました。セグメント利益は、取扱い物量の増加や価格改定およびコスト削減等の損益改善により、310百万円（前年同期比86.7%増）と増益となりました。

④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、当社における自動車部品用ガラスの出荷は増加しましたが、電子部品用ガラスの出荷が減少し、国内子会社における通信用部品やレーザー用部品の出荷も減少しました。また、台湾の子会社が清算手続き中であることによる販売減少もあり、セグメント売上高は1,401百万円（前年同期比15.9%減）と減収となりました。セグメント利益は、前第2四半期連結累計期間に損失の発生していた台湾の子会社が清算手続き中であることによる良化がありましたが、出荷の減少等により、△77百万円の損失（前年同期は△190百万円の損失）となりました。

その他事業には、第1四半期連結会計期間に研究開発部門から独立した植物事業を含み、セグメント売上高は69百万円、セグメント利益は△43百万円の損失となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は36,840百万円（前年同期比7.5%増）と増収となり、連結営業利益は3,205百万円（前年同期比855.2%増）と増益となりました。前連結会計年度末において米国の関連会社が債務超過であることから、同社に係る貸付金および保証類似行為の金額を上限として持分法による投資損失を計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間において、同社が独自の資金調達を行ったため、同社に係る貸付金が全額返済されるとともに、同社に係る保証類似行為が解除されたことにより、持分法による投資利益が大きく改善して1,665百万円（前年同期は持分法による投資損失868百万円）となり、連結経常利益は5,436百万円（前年同期は△880百万円の損失）と増益となりました。さらに事業構造改革計画に基づき実行した固定資産の譲渡や、米国の関連会社の持分変動により発生した持分変動利益等により特別利益6,328百万円を計上いたしました。法人税等調整額1,555百万円を計上し、この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,756百万円（前年同期は△22百万円の損失）と増益となりました。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期における通期の業績予想につきましては、2023年8月7日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,647	12,293
受取手形、売掛金及び契約資産	18,414	21,847
商品及び製品	6,049	6,473
仕掛品	254	392
原材料及び貯蔵品	1,818	1,852
その他	1,038	1,208
貸倒引当金	△2	△4
流動資産合計	35,220	44,063
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,484	5,168
機械装置及び運搬具（純額）	8,142	7,189
工具、器具及び備品（純額）	733	705
土地	10,911	10,415
建設仮勘定	401	887
有形固定資産合計	25,672	24,366
無形固定資産		
その他	202	189
無形固定資産合計	202	189
投資その他の資産		
投資有価証券	2,396	2,802
関係会社株式	20,134	21,920
退職給付に係る資産	766	720
繰延税金資産	1,764	159
その他	1,706	1,839
貸倒引当金	△263	△261
投資その他の資産合計	26,504	27,181
固定資産合計	52,379	51,737
資産合計	87,599	95,801

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,958	8,052
短期借入金	11,884	10,940
未払法人税等	376	402
賞与引当金	615	874
事業構造改善引当金	99	57
その他	4,277	4,130
流動負債合計	25,212	24,458
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	18,801	16,424
リース債務	440	310
環境対策引当金	3	3
退職給付に係る負債	3,001	2,820
繰延税金負債	11	139
持分法適用に伴う負債	228	—
その他	1,410	1,141
固定負債合計	24,898	21,839
負債合計	50,111	46,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,625	16,625
利益剰余金	8,287	18,044
自己株式	△1,565	△1,566
株主資本合計	37,422	47,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	733	1,015
繰延ヘッジ損益	41	181
為替換算調整勘定	△715	1,180
退職給付に係る調整累計額	△133	△204
その他の包括利益累計額合計	△73	2,172
非支配株主持分	139	151
純資産合計	37,488	49,503
負債純資産合計	87,599	95,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	34,265	36,840
売上原価	28,690	28,627
売上総利益	5,575	8,213
販売費及び一般管理費	5,239	5,008
営業利益	335	3,205
営業外収益		
受取利息	20	17
受取配当金	54	495
持分法による投資利益	—	1,665
その他	574	301
営業外収益合計	650	2,478
営業外費用		
支払利息	141	121
持分法による投資損失	868	—
租税公課	46	47
その他	810	79
営業外費用合計	1,866	247
経常利益又は経常損失(△)	△880	5,436
特別利益		
固定資産売却益	34	5,584
持分変動利益	—	664
受取補償金	—	79
事業整理損失引当金戻入額	114	—
特別利益合計	149	6,328
特別損失		
固定資産売却損	1	3
固定資産廃棄損	3	3
支払補償金	7	—
事業整理損	121	—
事業構造改善費用	—	103
特別損失合計	133	110
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△865	11,654
法人税、住民税及び事業税	252	325
法人税等調整額	△998	1,555
法人税等合計	△746	1,880
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△119	9,773
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△97	17
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22	9,756

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△119	9,773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	281
繰延ヘッジ損益	△71	139
為替換算調整勘定	△722	74
退職給付に係る調整額	△12	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	1,985	1,756
その他の包括利益合計	1,184	2,250
四半期包括利益	1,065	12,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,144	12,003
非支配株主に係る四半期包括利益	△78	21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△865	11,654
減価償却費	2,096	1,715
持分法による投資損益(△は益)	868	△1,665
持分変動損益(△は益)	—	△664
有形固定資産売却損益(△は益)	△32	△5,581
売上債権の増減額(△は増加)	△463	△3,444
仕入債務の増減額(△は減少)	777	78
棚卸資産の増減額(△は増加)	208	△580
その他	△479	125
小計	2,108	1,638
利息及び配当金の受取額	65	623
利息の支払額	△147	△130
法人税等の支払額	△332	△463
法人税等の還付額	66	138
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,761	1,807
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	95	39
有形固定資産の取得による支出	△849	△1,371
有形固定資産の売却による収入	68	6,275
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入	284	—
貸付けによる支出	△1,007	△209
貸付金の回収による収入	74	2,129
その他	△19	△345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,353	6,517
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,909	△800
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△4,161	△2,521
配当金の支払額	△1	△1
その他	△448	△403
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,202	△3,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	146	80
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,647	4,679
現金及び現金同等物の期首残高	10,898	7,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,251	12,143

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	21,779	3,660	6,593	1,666	33,700	—	33,700
その他の収益	—	—	565	—	565	—	565
外部顧客への売上高	21,779	3,660	7,159	1,666	34,265	—	34,265
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	358	3,963	4	4,326	△4,326	—
計	21,779	4,019	11,122	1,670	38,592	△4,326	34,265
セグメント利益又は損 失(△)	193	△36	166	△190	132	203	335

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額203百万円には、セグメント間取引消去等68百万円、その他の調整134百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、秦皇島方圓包装玻璃有限公司の全持分を売却したため、みなし売却日を第1四半期連結会計期間末日とし、連結の範囲から除外しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ガラスびん関連事業」において7,010百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	24,082	3,969	6,764	1,401	36,218	69	36,288	—	36,288
その他の収益	—	—	552	—	552	—	552	—	552
外部顧客への売上高	24,082	3,969	7,317	1,401	36,771	69	36,840	—	36,840
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	228	4,124	5	4,358	0	4,358	△4,358	—
計	24,082	4,198	11,441	1,406	41,129	69	41,199	△4,358	36,840
セグメント利益又は損 失 (△)	2,634	311	310	△77	3,179	△43	3,135	69	3,205

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、植物事業を含んでおりま
す。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額69百万円には、セグメント間取引消去等49百万円、その他の調
整19百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメ
ントに計上されている営業外損益調整等です。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。